

Vol.2
特集

施設で働く職員

寄り添うケアをめざして..

彩光苑に入職して4年になります。入職後、約1年間は介護職として努め、その後、1階の特別養護老人ホーム84名の施設ケアマネージャーとしてケアプラン作成等の業務にあたっています。

終末期に

当苑の「看取り介護」についてご紹介させていただきます。看取りの対象になった方は、看取り同意書を交わした後にご本人様やご家族様のご意向をお伺いし、終末期をどのように過ごしていただくか、多職種による話し合いを行なっています。

看取り者の中には、内牧クリニックの医師（主治医）の診察を受け、体調等を考慮し、ご本人様やご家族様と相談のうえ外出の支援をすることもあります。全身状態が悪くなっても、できる限り経口摂取や入浴が続けられるよう取り組んでいます。また、機能訓練指導員によるリハビリにて疼痛緩和や関節拘縮の予防を行っています。時にはご家族様と一緒にマッサージをすることもあります。

希望を叶えたい

最近あった看取りの事例としては、「うなぎを食べたい」と希望された方がおり、ご家族様と相談して昼食時にうなぎを持参していただきました。食べやすい形態に調理し、息子様・職員が見守る中、看護師が介助をしました。飲み込むことはできず、口に含んだままでしたが、表情がやわらぎ喜ばれている様子が伺えました。この方は息子様が見守る中、その日の夕方に安らかに永眠されました。

不安を共有してこそ

ご本人様の状態変化やご家族様に不安がみられた際は、主治医が状態説明を行っています。ご家族様の考えを十分伺ったうえ、主治医から現状の説明をしています。

死は特別なことではなく誰にでも訪れる自然なことであり、人生の最期の瞬間は安らかで個人の尊厳が最大限に尊重されるべきです。尊厳ある最期を迎えるため、多様な視点と関わりの中で最善の判断ができるよう、主治医に指示を仰ぎながら各専門職が積極的に関わり、ご家族様とともに共有することが重要であると考えます。今後も皆様に、彩光苑に入って良かったと思って頂けるよう努めてまいります。



『老人会での講演』 内牧クリニック 院長 前川 勝治郎

平成25年9月4日、内牧公民館で「健康な生活を送るために」というタイトルでお話をさせていただきました。

老人会の皆さんは、特に健康に関心をお持ちになり、日頃から食生活に注意をされていらっしゃる方ばかりです。今回は特に高齢者に必要な体を動かす運動（年齢相応）について、会場でも手軽にできる内容も含め、少し実践を交えながら講演させていただきました。大変好評だったとのことでした。会長さん・館長さんはじめ皆様方のご協力に大変感謝しております。



理念

私たちは、地域の人々のために、共に手をつなぎ、一人ひとりを大切にし、安心して暮らせるように「福祉・医療・保健」を連携させたサービスを提供します

- 基本方針 -

特別養護老人ホーム 彩光苑

- ・家族や地域の人々とともに、高齢者の尊厳を守りつつ寄り添うケアに努めます
- ・利用者みなさまが、安全で安心して暮らせる環境を整えます

ケアハウス 彩光苑

- ・利用者みなさまの声を大切にし、いつまでも自立した生活が出来るよう支援します
- ・食事や入浴のサービスを通して、健康的な生活をささえます
- ・生涯にわたり、安心して生活を営むことができるサービスを提供します

内牧クリニック

- ・地域の人々の健康を願い、心のこもった医療を提供します
- ・誰もが気楽に集えるクリニックとして、健康相談を行います
- ・社会福祉法人のクリニックとして、生活困窮をかかえる方々の医療をささえます

ふれあい

発行 社会福祉法人 恩賜 財団 済生会

支部埼玉県済生会彩光苑
〒344-0051

春日部市内牧3149

発行者 所長 田嶋 襄

編集 広報委員会

発行日 平成25年10月25日



行事実行委員メンバー写真（夏祭り当日）

8月22日に開催された彩光苑夏祭りにおきまして、多数のご参加ありがとうございました。天候にも恵まれ、無事に開催出来ました事を大変嬉しく思います。

来年度も皆様楽しんでいただける夏祭りを開催させていただきますので、多数のご参加をお待ちしております。

行事実行委員長 木村 祐樹

（前列左から2番目）

topics

祝 敬老祭

家族交流会開催

今年も暑かった夏祭り

ケアハウス活動～卓球大会～

ボランティア交流会開催

特集「施設で働く職員」

内牧クリニック院長による講演会



9月11日、14時より、1階デイルーム「ひまわり」にて、平成25年度特別養護老人ホーム敬老祭の式典が行われました。祝年齢者と90歳以上の入居者様及びそのご家族様が参加されました。今年は、祝年齢者が43名と沢山の方のお祝いとなりました。

祝年齢者の記念品として、レッグウォーマーを贈呈し、入居者様全員と参加されたご家族様に銘菓ひよこの紅白饅頭をお配りしました。式典終了後、ご家族と一緒に、お茶と紅白饅頭を召し上がりながら楽しいひと時を過ごされました。

『おめでとうございます、いつまでもお元気でお過ごし下さい』



この日に感謝

あらためて感じた家族の大切な思いに…



8月31日、2グループでは、入居者様のご家族と家族交流会を初めて開催しました。

残暑厳しい中、5名のご家族様にご参加いただき意見交換をさせて頂きました。

交流会では、ご家族様から入居者様のご自宅での生活の様子を聞かせていただきました。入居者様との団欒の時間には、シャベットを召し上がっていただきながら、楽しいひと時を一緒に過ごすことができました。

これからも入居者様だけでなく、ご家族様の思いに応えられるケアをしていきたいと思ひます。

平成25年度の彩光苑夏祭りが8月22日に開催されました。今年の夏祭りは「みんな笑顔の夏祭り」をテーマに掲げ、行われました。

正面玄関前の駐車場に大きなやぐらを設置し、その周りをフランクフルトやかき氷など7店の屋台で囲み、入居者の皆様や、ご家族様、近隣の方々で大賑わいとなりました。

また、ボランティアの方々によるフラダンスや和太鼓、盆踊りなど、たくさんの方々にもご参加頂き大変盛り上がりしました。短い時間での開催でしたが、大きな事故や体調を崩される方もなく、多くの方々の笑顔や笑い声が溢れ、素敵な夏の日となりました。



今年も暑く
楽しかた夏

9月11日、13時30分より、2階娛樂室にて和やかな雰囲気の中、ケアハウス敬老祭の式典が行われました。今年は古希2名、傘寿1名、米寿4名、卒寿2名の計9名の祝年齢者をお祝ひしました。済生会川口総合病院の原澤院長をお迎えし、お祝ひの言葉を頂きました。敬老の記念品として、祝年齢の方にはタオルのギフトセットを、入居者様全員に水筒をお贈りしました。それぞれの入居者様がしっかりと記念品を抱え、喜びに満ちた表情が印象的でした。本当におめでとうございます。



(祝い膳)

喜びを共に



熱戦

第1回 卓球大会



7月30日、ケアハウスにて、入居者様による第1回卓球大会が開催されました。屋代日出光選手の選手宣誓で開始された今大会は、白熱した試合が繰り広げられ、石田幸子選手が見事優勝されました。

石田選手の的確なショット、屋代選手の見事なスマッシュ、お二人の素晴らしいプレーに感動し、楽しいひと時を過ごされました。応援に駆けつけて下さった皆様の声援は選手の励みになりました。第2回開催に向けて、これからも練習を重ねていきたいと思ひます。

ボランティア交流会開催

秋の気配が感じられるようになった9月25日に、当苑にてボランティア交流会が行われました。今回の交流会では今年度の活動状況や平成25年度前期の事業の状況説明のあと、藤内牧ボランティア、吉永喜代子様の活動時間が200時間を超え、表彰状と粗品が贈呈されました。続いて、三遊亭楽生師匠（さいたま市岩槻区出身）による独演会が行われました。

” 徂徠豆腐（そらいどうふ） ” という題目のお話で、会場からは笑いと感嘆の声が絶え間なくわきあがり、惜しめない拍手で公演が終了しました。昼食は、東京広尾の「サクラの木」よりお弁当を取り寄せました。食後の感想を聞くと、「綺麗で美味しい」、「色々食べられて嬉しい」等、大変好評を頂きました。最後は、三遊亭楽生師匠と記念撮影をし、たくさんの笑顔とともに終了することができました。

毎回短時間での交流会で恐縮ですが、ボランティアの皆様へ、少しでも感謝の気持ちが届いていたら幸いです。いつもご協力ありがとうございます。

